



校長 朝倉浩一

2学期を振り返って

2学期は、コロナ禍の中でもいろいろな行事を実施してきました。それは、従来とは異なり、感染拡大防止を念頭に教職員や児童が知恵を絞り、実現可能な工夫を行いました。運動会では、密集を避けるため、入場行進を廃止し、ラジオ体操ができる隊形での開会式や徒競走ではトラックを利用すると接近や接触多くなるため、直線のセパレートコースにしたり、バトンでの接触を防ぐため軍手をしたり、一人一人が使用するものを作ったりと、様々なアイデアがありました。またPTAの役員の方々の協力で、学校近くの地区よりテントをお借りし、児童が使用するテントを昨年までより2倍に増やし、テント内での間隔を広くとりました。ご協力いただきました保護者、地区の皆さんありがとうございました。



1学期できなかった学習参観を2学年ずつ3回に分けて実施しました。大規模改装工事中ということもあり、参観される保護者の皆様の3密を避けるよう考え実施しました。しかし、兄弟姉妹がおられる方々には、何度も足をお運びいただくことになり、ご迷惑をおかけしたことと思います。申し訳ございませんでした。

子供たちが楽しみにしている遠足や4、6年生の宿泊学習については、目的地や活動内容の変更はありましたが、バスを利用して実施することができました。バスの乗降時や活動の間には、アルコール消毒等の感染防止を徹底しました。



残念ながら音楽集会は中止にしました。昨年度末より、歌は感染を拡大する可能性が高いため、朝歌ったり、音楽の時間に歌ったりすることを中止してきました。入学式等の式においてもCDを流し、心の中で校歌を歌っていました。歌声が響く入善小学校でしたが、とても残念な年となっています。



このように、従来実施してきたいろいろな行事が中止や変更が余儀なくされてきました。残念でありましたが、見直しを行う上で新しい指針を与えてくれたこともありました。今まで時間をかけていた行事のための練習時間が、3密を避けるため等の理由で、最小限にしたことにより、授業時間が確保できるようになりました。行事に取り組むことの教育的効果と授業時数の確保の両立を考えていく上で一石を投じてくれたと思います。

まだまだ、終息が見えないコロナ禍の中、新しい生活様式を意識し、上手に付き合っていかなければならないと考えます。家庭での健康観察やマスクの準備等、大変かとは思いますが、これからもよろしくをお願いします。